



Idea

100周年  
Anniversary

岡三証券  
OKASAN SECURITIES

2024年1月10日

お客さま用資料

岡三証券 投資情報部  
マーケット情報グループ  
福嶋 祥歩



## “産業のコメ”半導体が需要好転へ ～日本勢は装置や材料で強みを発揮～

1. 2024年の半導体市場は、過去最高を更新へ
2. 日本企業は装置や材料で強みを発揮
3. 半導体の製造工程と主な関連銘柄

### 《注目銘柄》

- ・レゾナックHD(4004)
- ・ディスコ(6146)
- ・アドバンテスト(6857)
- ・レーザーテック(6920)
- ・SCREEN HD(7735)
- ・東京エレクトロン(8035)



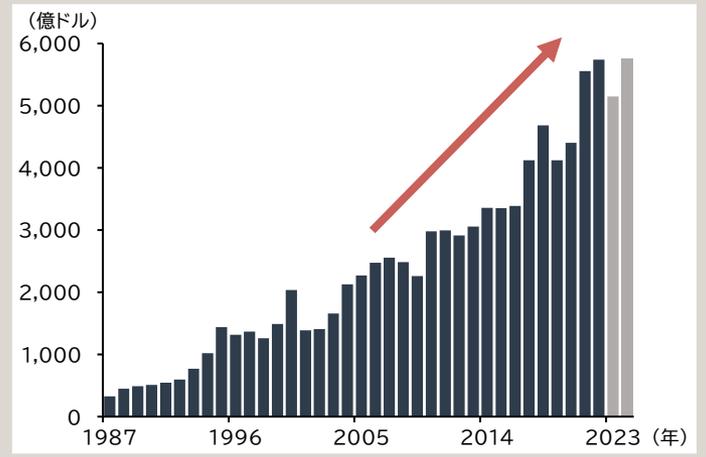
# 1. 2024年の世界半導体市場は、過去最高を更新へ

WSTS(世界半導体市場統計)によると、2024年の世界半導体市場は、前年比13%増の5,883億ドルと、過去最高を更新する見通し。生成AIを利用したサービスの本格化に加え、低迷していたスマホやPC需要の回復が見込まれている。

世界の半導体売上高は、2022年8月以来、前年同月を下回って推移しているが、2023年10月は前年同期比0.7%減と、マイナス幅は大きく縮小している。また、前月比ベースでは2023年3月以降、8カ月連続で増加している。

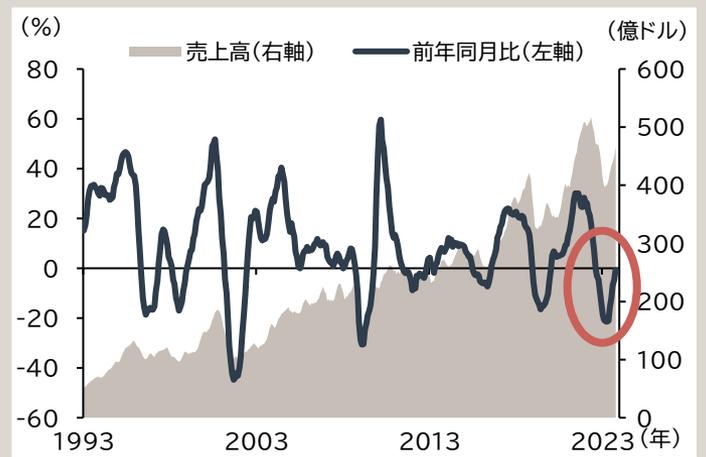
アナログ、マイクロ、ロジック、メモリが含まれるICが、半導体市場の回復を主導する見込みだが、巣ごもり需要の失速や物価高による個人消費の停滞を受けて低迷していた半導体メモリ価格が、足元で回復の兆しを見せている。データの一時保存に使われるDRAMの価格が2023年秋以降、回復基調にあるほか、大口取引価格も足元で底入れの動きが強まっているもよう。メモリ市場全体では、2023年の前年比31.0%減から、2024年には同44.8%増と予想されており、メモリ半導体が2024年の半導体市場を牽引することが期待できよう。

### 世界の半導体市場規模の推移



Statistaのデータを基に岡三証券作成 ※最新は2024年、2023年以降は予想値

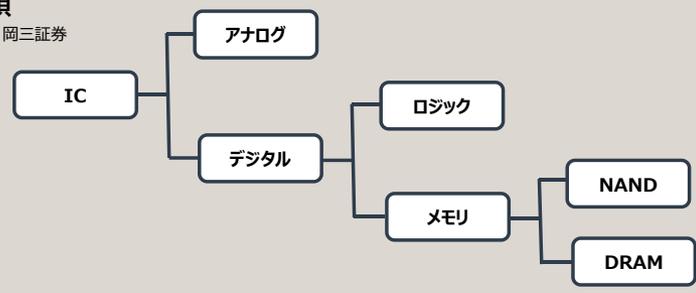
### 世界半導体売上高(3ヵ月移動平均)



出所:WSTS、LSEG Workspace 月次 最新は2023年10月 作成:岡三証券

### 半導体の分類

出所:各種資料 作成:岡三証券





## 2. 日本企業は装置や材料で強みを発揮

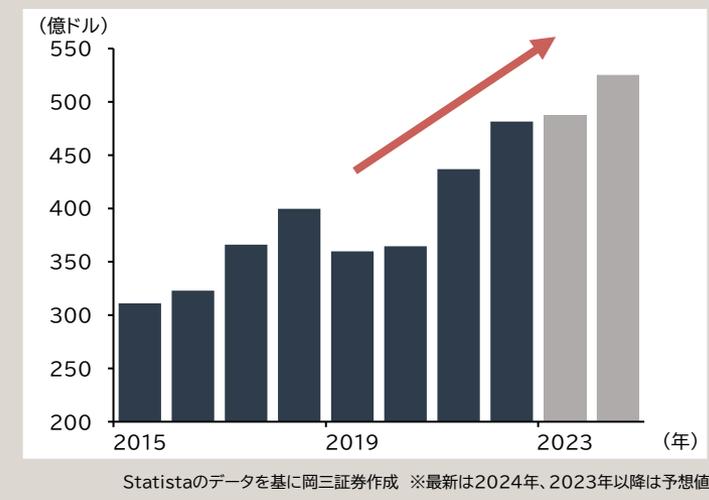
実際、日本においても、半導体市場は2024年も堅調な推移が予想されているほか、出荷と在庫の前年比の伸び率の差である出荷・在庫バランスがプラス圏に浮上し、半導体を含めた電子部品・デバイスの需給環境が改善している。

日本の半導体企業が圧倒的な強みを発揮しているのは、半導体の製造工程で使われる半導体製造装置、半導体材料、半導体検査装置の分野だ。技術力や品質の高さから世界シェア首位の日本企業が目立っている。例えば、ディスコ(6146)は切断装置で、アドテスト(6857)は検査機器で世界首位級。素材でも、信越化(4063)がシリコンウエハで、東洋合成(S4970)はフォトレジストの原料である感光剤で世界シェア首位を誇る(※Sはスタンダード)。

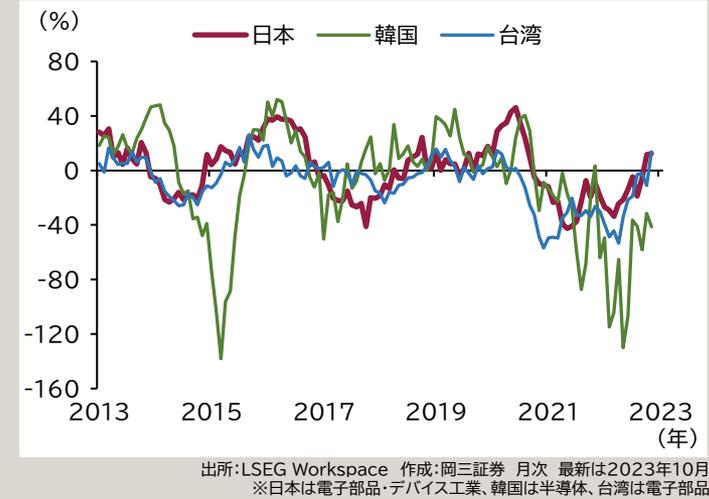
そのようななか、九州の半導体産業にも注目が集まろう。2021年から30年までに九州と沖縄・山口で予定されている半導体関連の設備投資は公表ベースで72件、総額6兆円にのぼる。2024年末には台湾積体回路製造(TSMC)の熊本工場が稼働を予定しているほか、ローム(6963)はパワー半導体の大型工場の稼働、荏原(6361)はウエハ研磨装置の新工場の竣工を予定している。新設工場による国内受注の増加にも期待できそうだ。



### 日本の半導体市場規模の推移



### 各国の出荷・在庫バランス(前年同月比)





## 3. 半導体の製造工程と主な関連銘柄

※青字は注目銘柄としてp.4-6に記載

工程	工程の概要	装置	材料関連	
設計	回路図を作る	ソシオネクスト (6526)		
前工程	ウエハ製造	高純度のシリコンを液状に溶かして固め、薄く切り出して研磨する	SUMCO (3436)、信越化 (4063)、フジミインコ (5384)、三益半 (8155)	
	フォトマスク製造	ICのパターンをウエハに焼付けするためのフォトマスクを作成する	レーザーテック (6920)	HOYA (7741)
	成膜	配線やトランジスタ等になる薄膜層をウエハ上に形成	KOKUSAI (6525)、東エレクト (8035)	
	レジスト塗布	薄膜上に感光剤 (フォトレジスト) を塗布	スクリン (7735)、東エレクト (8035)	住友化 (4005)、信越化 (4063)、JSR* (4185)、応化工 (4186)、富士フイルム (4901)、東洋合成 (S4970)
	露光	回路を描いたフォトマスクを装置した露光装置を使用してUV光を当て、回路パターンを転写	ニコン (7731)、キヤノン (7751)	
	エッチング	腐食作用のある化学薬品などで膜を除去	東エレクト (8035)	レゾナックHD (4004)、日本酸素 (4091)、トリケミカル (4369)、ADEKA (4401)
	洗浄	工程間に定期的に超純水で洗浄する。工程数ベースでは、前工程の30~40%を占める	栗田工 (6370)、スクリン (7735)、東エレクト (8035)	レゾナックHD (4004)、野村マイクロ (6254)、オルガノ (6368)
	その他		ローツエ (6323) : 搬送用装置	日東紡 (3110) : 特殊ガラス
中工程	チップレット (集積する機能を複数の小さなチップに分割したもの) を相互接続	アオイ電子 (S6832)		
後工程	ダイシング	ウエハ上に形成されたICチップを砥石 (ダイサ) で1個ずつに切り離す	ディスコ (6146)、東京精 (7729)	古河電 (5801)、日東電 (6988)
	パッケージング	外部環境からの保護し、外部と電気信号をやりとりできるように接続する	TOWA (6315)、芝浦メカ (6590)	レゾナックHD (4004)、イビデン (4062)、新電工* (6967)
	検査	完成後に電気的特性などを検査	アドバンテ (6857)	

出所:各種資料 作成:岡三証券 Sはスタンダード \*JSRと新光電工は1月5日現在貸株利用申込制限、監理銘柄

最後に重要な注意事項が記載されていますので、十分にお読みください。



# 注目銘柄

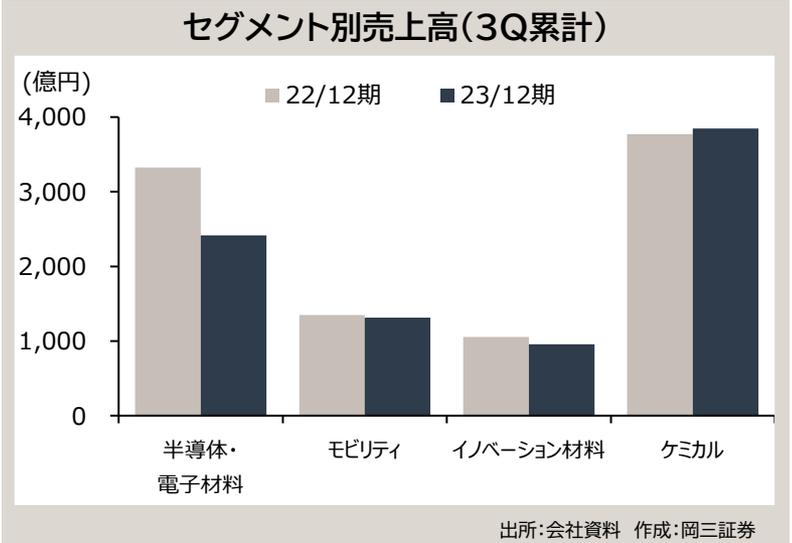
## レゾナックHD(4004 プライム)

### グローバル売上No.1の半導体材料メーカー

総合化学メーカー。半導体関連では、研磨・平坦化で使う研磨液のCMPスラリーやエッチングで用いられる特殊ガス製品、洗浄に用いられる洗浄剤などを展開。旧昭和電工。

23/12期3Q累計決算は、前年同期比で減収・営業赤字転落。特に、半導体・電子材料セグメントは、前年後半からの需要低迷が継続したことが響いた。

一方、23/12期の売上高と営業・経常利益の通期会社計画は、半導体・電子セグメントの回復を見込み、上方修正。最終利益は特別損失の計上を見込んで赤字幅を拡大したが、来期の黒字転換に期待が高まろう。



## ディスコ(6146 プライム)

### ウエハの切断装置で世界首位

シリコン・ウエハの精密加工装置、精密加工ツール等の世界的大手メーカー。ダイシングソー(ウエハを切り分ける装置)など、高シェア製品を有する点が特徴。

24/3期2Qは、出荷額が前四半期比17%増の794億円となり、三四半期ぶりに増加に転じた。パワー半導体の需要継続により出荷は高水準を見込み、生成AI関連は2024年からの本格出荷を見込んでいる。

2027年3月に都内に研究開発棟を竣工予定。高度な切る・削る・磨く of 技術を強みに、日本拠点での技術開発による業績の拡大に期待できそうだ。





# 注目銘柄

## アドバンテスト(6857 プライム)

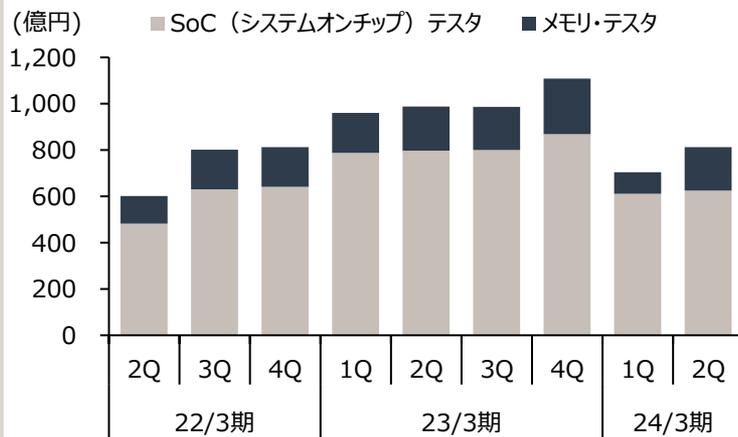
### 半導体試験装置で世界大手

メモリテストメーカーとして世界的に高い知名度を持つ。携帯電話用アプリケーション・プロセッサなど非メモリ半導体用テストシステムも高シェア。

24/3期会社計画を下方修正。ただ、生成AI(人工知能)向けなど高性能メモリ向けの増収などにより、1Qを底に売上高は改善しており、今後の業績回復が期待されよう。

生成AIの稼働や機能拡張に必要なロジック半導体や高性能メモリ半導体は複雑で高性能なため、試験装置の重要性が高まろう。メモリは半導体市場全体の回復を牽引するとみられており、恩恵をうけよう。

### 半導体・部品テストシステム事業の売上高推移



出所:会社資料 作成:岡三証券

## レーザーテック(6920 プライム)

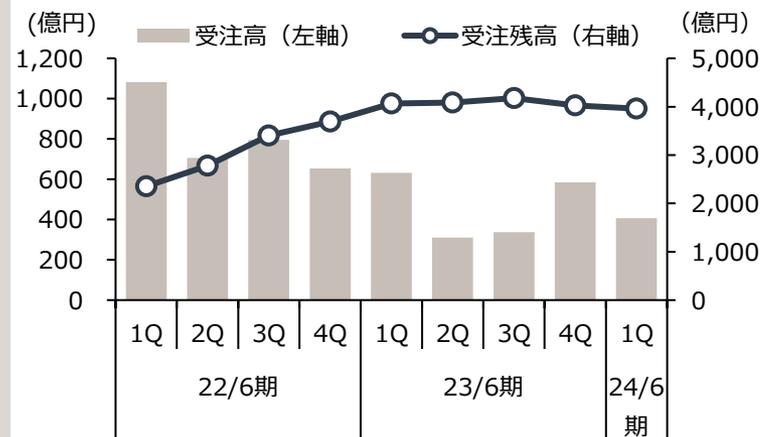
### 半導体用マスクブランクス欠陥検査装置の世界トップ企業

FPD\*関連装置やレーザー顕微鏡などの設計、製造、販売などを手掛ける。主力の半導体用マスクブランクス欠陥検査装置は世界シェア100%を誇る。\* FPDはフラットパネルディスプレイを指す

24/6期1Qは、顧客の慎重な姿勢が継続した。ただ、会社側は、生成AI関連向けなどの引合いが強いとし、下半期に向けて受注の回復を見込んでいる。

自社開発の高輝度EUVプラズマ光源「URASHIMA」を2023年9月に発表。EUVパターンマスク欠陥検査装置ACTISシリーズへの適用を進める。需要が旺盛なパワー半導体向け装置で、更なる業績拡大が期待できそうだ。

### 四半期受注高・受注残高の推移



出所:会社資料 作成:岡三証券



## 注目銘柄

### SCREEN HD(7735 プライム)

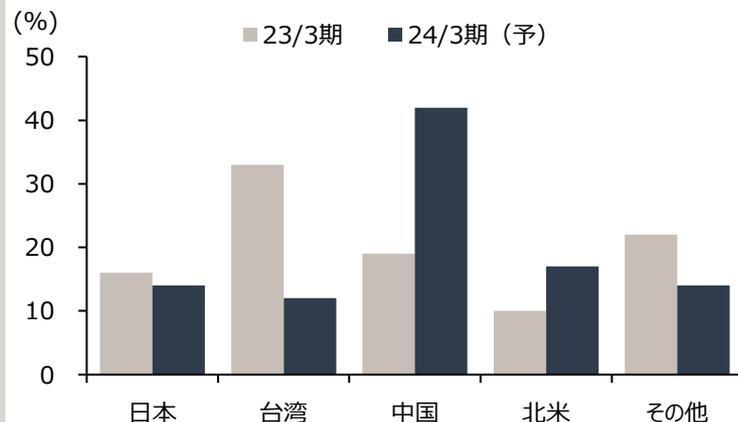
#### 半導体洗浄装置で世界首位

半導体製造装置の洗浄分野が主力。ウエハを1枚ずつ処理する枚葉式洗浄装置や複数のウエハを一括で処理するバッチ式洗浄装置、ウエハを軟らかいブラシと純水で物理洗浄するスピンスクラバーは世界シェアトップを誇る。

24/3期上期は、主力のSPE(半導体製造装置)事業は、中国や北米向けが増加したことで業績を牽引した。

また、24/3期の売上・利益の上方修正を発表。3期連続で過去最高業績の更新を見込む。また、中間配当制度を導入。通期での増配を含め、積極的な株主還元姿勢も評価されそうだ。

#### SPE事業の地域別売上高比率



出所:会社資料 作成:岡三証券 予想は会社計画 2023年10月31日時点  
※その他は韓国と欧州とその他・アジア オセアニアの合計

### 東京エレクトロン(8035 プライム)

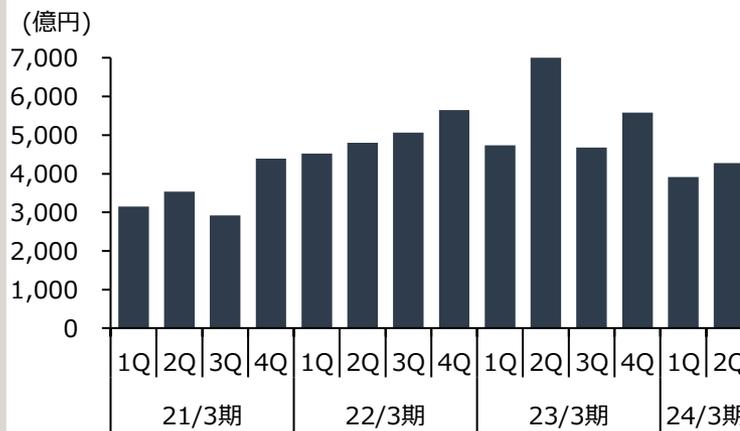
#### 半導体製造装置で国内最大手

半導体製造装置の国内最大手。世界でもトップクラスの品揃えを誇り、様々なプロセスに対応する幅広いラインナップを揃える。

24/3期上期決算は前年同期比で減収減益となったものの、2Q単体では1Qから増加しており、会社側は、「売上高は1Qで底入れした」との見方を示した。

生成AI(人工知能)向けでは、ボンディング装置などの需要拡大が期待されるほか、極低温エッチング装置を新しく開発。従来技術に対して生産性や環境性能に優れており、シェアの拡大が期待されよう。

#### 売上高の推移



出所:会社資料 作成:岡三証券



# 株価チャート (週足)

## レゾナックHD(4004 プライム)



## ディスコ(6146 プライム)



## アドバンテスト(6857 プライム)



## レーザーテック(6920 プライム)





## 株価チャート（週足）

### SCREEN HD(7735 プライム)



### 東京エレクトロン(8035 プライム)



## 重要な注意事項

### 免責事項

- ・本レポートは、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。また、本レポート中の記載内容、数値、図表等は、本レポート作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本レポートに記載されたいかなる内容も、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。
- ・本レポートは、岡三証券が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。企業が過去の業績を訂正する等により、過去に言及した数値等を修正することがありますが、岡三証券がその責を負うものではありません。
- ・岡三証券及びその関係会社、役職員が、本レポートに記載されている有価証券について、自己売買または委託売買取引を行う場合があります。岡三証券の大量保有報告書の提出状況については、岡三証券のホームページ(<https://www.okasan.co.jp/>)をご参照ください。

### 地域別の開示事項

#### 【日本】

○金融商品は、個別の金融商品ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なります。金融商品取引のご契約にあたっては、あらかじめ当該契約の「契約締結前交付書面」(もしくは目論見書及びその補完書面)または「上場有価証券等書面」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

#### <有価証券や金銭のお預かりについて>

株式、優先出資証券等を当社の口座へお預かりする場合は、口座管理料をいただきません。外国証券(円建て債券および国内の金融商品取引所に上場されている海外ETFを除きます。)をお預かりする場合には、1年間に3,300円(税込み)の口座管理料をいただきます。ただし、電子交付サービスを契約している場合には、口座管理料は1年間に2,640円(税込み)とします。なお、当社が定める条件を満たした場合は外国証券の口座管理料を無料といたします。上記以外の有価証券や金銭のお預かりについては料金をいただきません。証券保管振替機構を通じて他社へ株式等を口座振替する場合には、口座振替する数量に応じて、1銘柄あたり6,600円(税込み)を上限として口座振替手数料をいただきます。

お取引にあたっては「金銭・有価証券の預託、記帳及び振替に関する契約のご説明」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

#### <株式>

- ・株式(株式・ETF・J-REITなど)の売買取引には、約定代金(単価×数量)に対し、最大1.265%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料をいただきます。ただし、株式累積投資は一律1.265%(税込み)の売買手数料となります。国内株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- ・外国株式の海外委託取引には、約定代金に対し、最大1.518%(税込み)の売買手数料をいただきます。外国株式の国内店頭(仕切り)取引では、お客様の購入および売却の単価を当社が提示します。この場合、約定代金に対し、別途の手数料および諸費用はかかりません。
- ※外国証券の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および公租公課その他の賦課金が発生します(外国取引に係る現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その合計金額等をあらかじめ記載することはできません)。外国株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- ・株式は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による株価の変動によって損失が生じるおそれがあります。
- ・株式は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、株価が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・また、外国株式については、為替相場の変動によって、売却後に円換算した場合の額が下落することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・REITは、運用する不動産の価格や収益力の変動、発行者である投資法人の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により価格や分配金の変動し、損失が生じるおそれがあります。

#### <債券>

- ・債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

- ・債券は、金利水準、株式相場、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による債券価格の変動によって損失が生じるおそれがあります。
- ・債券は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、債券価格が変動することによって損失が発生するおそれがあり、また、元本や利子の支払いの停滞もしくは支払い不能の発生または特約による元本の削減等のおそれがあります。
- ・金融機関が発行する債券は、信用状況の悪化により本拠所在地国の破綻処理制度が適用され、債権順位に従って元本や利子の削減や株式への転換等が行われる可能性があります。ただし、適用される制度は発行体の本拠所在地国により異なり、また今後変更される可能性があります。

#### <個人向け国債>

- ・個人向け国債を募集により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。個人向け国債を中途換金する際は、次の計算によって算出される中途換金調整額が、売却される額面金額に経過利子を加えた金額より差し引かれます(直前2回分の各利子(税引前)相当額×0.79685)。
- ・個人向け国債は、安全性の高い金融商品ではありますが、発行体である日本国政府の信用状況の悪化等により、元本や利子の支払いが滞ったり、支払い不能が生じるおそれがあります。

#### <転換社債型新株予約権付社債(転換社債)>

国内市場上場転換社債の売買取引には、約定代金に対し、最大1.10%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料をいただきます。転換社債を募集等によりご購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。転換社債は転換もしくは新株予約権の行使対象株式の価格下落や金利変動等による転換社債価格の下落により損失が生じるおそれがあります。また、外貨建て転換社債は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

#### <投資信託>

- ・投資信託のお申込みにあたっては、銘柄ごとに設定された費用をご負担いただきます。
  - お申込時に直接ご負担いただく費用:お申込手数料(お申込金額に対して最大3.85%(税込み))
  - 保有期間中に間接的にご負担いただく費用:信託報酬(信託財産の純資産総額に対して最大年率2.254%(税込み))
  - 換金時に直接ご負担いただく費用:信託財産留保金(換金時に適用される基準価額に対して最大0.5%)
  - その他の費用:監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が必要となり、商品ごとに費用は異なります。お客様にご負担いただく費用の総額は、投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、記載することができません(外国投資信託の場合も同様です)。
- ・投資信託は、国内外の株式や債券等の金融商品に投資する商品ですので、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が下落することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・投資信託は、組入れた有価証券の発行者(或いは、受益証券に対する保証が付いている場合はその保証会社)の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が変動することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・上記記載の手数料等の費用の最大値は、今後変更される場合があります。

#### <信用取引>

信用取引には、約定代金に対し、最大1.265%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料、管理費および権利処理手数料をいただきます。また、買付けの場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託保証金は、売買代金の30%以上で、かつ300万円以上の額が必要です。信用取引では、委託保証金の約3.3倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託保証金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

- 自然災害等不測の事態により金融商品取引市場が取引を行えない場合は売買執行が行えないことがあります。
- 2037年12月までの間、復興特別所得税として、源泉徴収に係る所得税額に対して2.1%の付加税が課税されます。

## 岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
一般社団法人日本暗号資産取引業協会

### 【日本以外の地域における本レポートの配布】

本レポートは、参照情報の提供のみを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。本レポートの受領者は、自身の投資リスクを考慮し、各国の法令、規則及びルール等の適用を受ける可能性があることに注意する必要があります。地域によっては、本レポートの配布は法律もしくは規則によって禁じられております。本レポートは、配布や発行、使用等を行うことが法律に反したり、岡三証券に何らかの登録やライセンスの取得が要求される国や地域における国民や居住者に対する配布、使用等を目的としたものではありません。

※本レポートは、岡三証券が発行するものです。本レポートの著作権は岡三証券に帰属し、その目的いかんを問わず無断で本レポートを複写、複製、配布することを禁じます。

(2023年12月改定)